かみかわ
議会広報



秋の“大雪 森のガーデン”

第203号 令和８年10月30日発行

一　般　質　問……P２～７

議　会　ニ　ュ　ー　ス……P７

決算審査特別委員会……P８～10

町議会審議結果……P11～13
７月臨時会　９月定例会

委員会等の動き……P14～15

議員視察レポート……P16

発行/上川町議会　　編集/議会広報特別委員会

一般質問 町政を問う

Q.「一般質問」ってなに？
A. 議員が町政の現状や方針を問うもので、議員の願う政策や展望も語ることのできる貴重な場です。

９月定例会は４人が質問しました

Ｐ２～　昔農議員　「町内市街地における公園等の維持管理の徹底について」
Ｐ３～　渕上議員　「積雪対策の強化について」
Ｐ５～　小林議員　「学童保育機能を併せた児童館の設置について」
「街の街灯について」
「町立診療所の経営について」
Ｐ６～　石山議員　「商・農・観の連携によるＰＲ施設の構想を」

※質疑の要点のみ掲載しております。

景　観

おもてなしのまちとして、道路や公園の景観維持に努めてほしい

町長　北海道や町内会と協力しながら進めたい



昔農（せきの） 正春（まさはる） 議員

町内市街地における公園等の維持管理の徹底について



ICを降りた訪問者がまず目にするのは、中心部に向かう通りと南町公園だ

昔農議員　町内中心部の公園は町内外の多くの方が利用されており、景観や清潔感に配慮した維持管理が必要と考える。

「おもてなしのまち」を掲げる町として、町内中心部の道路、公園、花壇の景観を大切にし、良好な状態を維持する体制を構築すべきと思うが町長の考えを伺う。

町長　日頃より公園内の清掃管理、草刈り、遊具及び給水施設点検など行っているが、財政不足に加え、老朽化や人手不足の影響もあり必要最小限での維持管理となっている。

南町公園は町外からも幼児を連れた家族などが訪れる。また国道から市街地に入っていく南町公園までの通りは、観光客を出迎える玄関口となっており、「おもてなしのまち」としての取組みが必要不可欠である。

予算の増額のみで対応するには限界があることから、業務内容の見直しや、道道に関しては、北海道建設管理部への働きかけを行っていきたい。

また、町内会へ有償ボラン

ティア協力を得ることも模索していきたい。

昔農議員　南町公園は、公園周辺をはじめ公園内、遊具周辺で草が伸び、景観や衛生的にも見苦しい状況が見受けられる。

町内会などの協力も得て、維持管理体制を構築することが必要ではないか。

町　長　南町公園は、業者に管理委託し年2回の草刈りをしているが、回数を増やすことは予算や人手的に厳しい。

有償ボランティアのほかにも、高齢者事業団やNPO法人などに臨時的に依頼をかけることも考えられるが、草刈り業務は草刈り機等も使用するので危険なこともあり、どの程度協力いただけるかも含め検討したい。

昔農議員　次に道道の植樹桝についてだが、当初植えられていた「ななかまど」は枯れてほとんど無い状況である。ボランティアで草取りをされている植樹桝も一部あるが、その他は、木も枯れ雑草が茂っている状態だ。

植樹桝においても道との協議を進め、植樹か花どちらが良いのか検討のうえ、駅前から大通りにかけての「おもてなし花壇」と同様に道路沿線や地域町内会のみなさんの協力もいただきながら管理体制を考えることが必要ではないか。

町　長　道道であるので、北海道建設管理部に現在の状況と要望を伝え、対応をお願いしていきたい。

具体的にどんな管理体制が構築できるか、どのような整備が良いのか、北海道・町・町民のみなさんで議論しながら対応していきたい。

除　雪

未明の大雪にも対応できる除雪基準に変更を

町長　変更は難しい。システム活用を検討中

積雪対策の強化について



除雪と排雪は、
町民の暮らしに大きく関わる

渕上議員　町内の除雪について、早朝の一斉除雪の出動判断時刻は、午前2時ということであるが、その後に大雪が降った際は除雪されないことがあった。判断時刻を遅らせることはできないか。

町　長　今の判断基準では、午前2時に10㎝以上の降雪があった場合に午前3時頃に除雪車を出動させ、作業の終了は、交通事故などの防止の観点から通勤・通学が始まる午前7時までとしている。

間口に極力雪を残さない手法をとっているので時間がかかり、判断時刻を遅くすることは難しい。

渕上議員　雪雲レーダーなどを利用して、午前2時以降に大雪が降る可能性が高い場合に出動することはできないか。

今年度は無理でも、統計データを取って雪雲の状態や確率性などを調べ、来年度以降の実施に向けて活用できないか検討してほしい。

町　長　現段階では、その判断はできないので、担当者



渕上（ふちがみ）　主美（かずみ）　議員

や現場と協議する。
　また、旭川市などでは市内にカメラを設置し、降雪の監視や一定の積雪があった場合に通報が入るシステムを導入しており、業務負担が軽減しているそうだ。国の補助もあるので、こちらも検討していきたい。

渕上議員　現在直営で行っている路線の一部を民間業者に委託してはどうか。それによって午前2時の判断の繰り下げができるし、時間に追われずに丁寧な除雪ができるのではないか。

町　長　民間も判断基準は町と同様だ。また官民含めて人員確保が難しい状況のため、現段階では対応できない。

渕上議員　次に排雪について、回数を増やし安全な交通の確保や住民の負担軽減を図ることはできないか。

町　長　市街地では年2回のペースで排雪作業を行っている。1回の排雪で20日以上の日数を要し、今までのやり方では回数を増やすことは困難であるが、方法等含め検討する。
　また、2回の排雪のうち1回を、降雪の多少に関わらずお正月前に行うことを検討している。
　最近排雪の処理スピードが遅くなっている。以前は新町の空き地に排雪していたが、認定こども園が建ち、栄町の雪捨て場まで運ぶようになったからだ。将来的には東町の町営住宅が解体されるため、そこを堆積場として考えている。

渕上議員　最近は線状降水帯が各地で発生している。冬に発生した場合大雪になり、防災にも関わる。上川町地域防災計画では、道路管理者は除雪計画を作成することになっているので、防災の観点からも雪対策を強化して欲しい。
　また、現在の除雪体制の出動基準などは要綱等で定めているのか。

町　長　除雪基準は要綱ではなく内規で定めており、公区員会議や広報で周知している。

渕上議員　次に冬期間の道路パトロールについて、定期的に行うべきだがどのような形で出動しているか。

建設技術課長　日中のパトロールを行うほか、住民から連絡があった場合は、随時現場に向かっている。

渕上議員　次に町の施設の冬期間の管理についてだが、つららや雪庇の除去や車での出入り口の見通しの確保などに務めていただきたい。

町　長　施設管理者に指示し徹底する。

渕上議員　雪に関しては、一部の方が関係するのではなく全住民が大変な思いをしている。雪の克服に向けて積極的に検討を願う。

過去の議会を動画で見ることができます

！YouTubeの【上川町議会チャンネル】へアクセス！

右の二次元バーコードを読み込むか、
インターネットで
【上川町議会チャンネル】
と検索してみてください。



子育て

児童館を設置しては　他2件

町長　学童ルームなど既存の設備を活用し子どもの居場所づくりに努める

学童保育機能を併せた児童館の設置について



共働き家庭等に限る学童保育と違い、児童館ならどんな子どもでも遊びにいくことができる

小林議員　子どもたちが放課後、友達と遊んだり交流したりできる場所が少なくなっている。

　子どもの成長のため遊びや交流を通じて人間関係を学べるように、学童保育の機能も備え、放課後に子どもたちが安心して集まれる児童館のような施設を設置できないか。

町長　現在、上川小学校の1階に学童保育ルームを設け、児童クラブや放課後子供教室などを実施している。学校内には体育館や図書室などもあり、子どもたちが活動できる環境がある。

　新たな児童館を設置することは、施設整備だけでなく、その後の維持管理や人員確保なども必要になる。現在ある施設や事業を活用しながら、子どもたちの居場所づくりを進めていきたいと考える。

小林議員　学校だけではなく、子どもたちが自由に集まり、年齢の違う子ども同士が交流できる場所も必要だと思う。既存施設を活用する方法も含め、子どもの居場所づくりを検討していただきたい。



小林（こばやし）　健男（つぐお）　議員

町長　子どもたちの居場所が必要だという考えは理解する。既存施設の活用なども含め、どのような方法が可能なのか検討する。

街の街灯について



小林議員　街灯は歩行者の安全を守るために必要だ。高齢者や足の具合が良くない人にとって、暗い道路は危険なので、安全に歩けるよう街灯を整備していただきたい。

町長　街灯についてはLED化を進めているが、場所によって明るさや設置状況に違いがある。また、虫の大量発生など地域特有の事情から、商店街の一部で消灯した経緯もある。

　歩行者の安全確保は重要なので、地域の状況や住民の意見を確認しながら、必要な対応を検討する。

町立診療所の経営について



小林議員　町立診療所は町民の命と健康を守る大切な施設である。

　人口減少が進む中、診療所を将来にわたって維持していくため、現在の経営状況をどのように考えているか。

町　長　町立診療所は多くの町民に利用され、町にとって欠かすことのできない医療機関である。一方、人口減少や医療を取り巻く環境の変化などから、経営は厳しい状況にある。

自治体病院や診療所は、採算性だけでは判断できない役割を担っている。今後も地域医療を守ることを基本に、持続可能な運営に努める。

小林議員　町立診療所は、高齢者などの旭川に通院することが難しい町民にとって必要な施設だ。医療だけでなく福祉などとも連携し、将来にわたって診療所を残していただきたい。

町　長　町立診療所が地域にとって重要な施設であることは十分認識している。医療や福祉などとの連携も考えながら、町民が安心して暮らせるよう、町立診療所を維持していくことを基本に取り組んでいく。

産業振興

道の駅を設置しては

町長　新たな施設建設は難しいため、既存施設の利活用を図りたい

商・農・観の連携によるPR施設の構想を



道の駅を望む声は多いが、建設費や集客に課題がある

石山議員　上川町には、ラーメンやもち製品、水、コーヒー、また日本酒や農畜産物、チーズ、おかきなど、町内外から評価されている多くの特産物があり、また恵まれた自然や観光資源を活用した様々な魅力ある取組みが行われている。

これらは町民個々の努力はもとより各企業・産業の中で育まれてきた町の宝であり、また若い世代が新しい発想と行動力で上川町を変えようと頑張っている。

この力をさらに発展させるためにも、上川町を通過する人たちに一度立ち寄ってもらい、町の特産品や観光の魅力をもっと知ってもらうことが必要だと考えるがいかがか。

町　長　本年策定した上川町観光戦略においては、町の特産品を生かし上川町でしか体験出来ない「食」を核とした滞在型観光の振興と観光消費の域内循環促進に向け、農・商・観の連携は極めて重要な柱として位置づけている。

常設イベントの検討や食をテーマにした観光の推進とともに、回遊促進のための拠点整備の検討も行うこととしている。

石山議員　道の駅のような、町内の特産品販売や観光情報の発信、市街地や各観光地への誘客を目的としたPR施設を構想してみてはどうか。

町　長　道の駅は、道内では年間160万人以上が来場する人気の道の駅がある一方で、全国にある約3割が赤字経営ともいわれており、立地の検討はもとより、そこでしか買えない・体験出来ない目的地となることが何より重要とされている。



石山（いしやま）　浩幸（ひろゆき）　議員

新たな施設建設は運営コストに見合う費用対効果が得られるかなど十分な検討が必要と考える。

町の財政も逼迫をしていることから、まずは層雲峡商店街や駅前など拠点機能の見直しを進め、既存施設の利活用を図りながら情報発信の強化に努めていきたい。

一方で町民から、道の駅を作ってほしいという要望は一定程度あり、上川中学校の町づくり提案の授業でも、道の駅設置の提言があったところだ。

道の駅の建設については課題もあることから、しっかり検討していきたい。

石山議員　確実な収益が見えない中での施設建設には反対だが、上川に希望を持って新たに起業した人のためにもさらなる集客・誘客が必須である。

行政主導でなくても各産業間・世代間の垣根を低くした議論の場を作ってみてはどうか。

そこで話し合い町民が理解を深め構想を作り上げることこそが、リビングラボ※の考え方と思うが町長の考えを伺う。

町長　そういった組織を作って議論することがよいのか検討が必要である。また、民間主導と言ってもすぐに立ち上がるものでもない。

施設建設については今後の検討課題としていく。

Check! これで分かる！一般質問読み解きワード

※リビングラボ
…町民・企業・行政がともに課題解決や新しい価値創出に取り組む活動や、そのための拠点のこと。

1 議会ニュース　長野県須坂市からの視察を受け入れました！

８月４日に須坂市議会会派「いいよね須坂」様が来町し、「上川町学園構想における教育ビジョンの策定」をテーマに視察を行いました。

須坂市からは、地域住民の理解を得るための取組等について質問が出され、活発に意見交換が行われました。



2 議会ニュース　議会にタブレットを導入します！



上川町議会はペーパーレス化を推進するため、議案閲覧用のタブレットを導入します。

これまで議会で使われてきた紙資料は年間約1,400枚（R7年度議員一人あたり）と膨大な数でしたが、８年度後期からはタブレットを導入することで徐々に紙資料を減らし、議会のペーパーレス化を図っていく予定です。

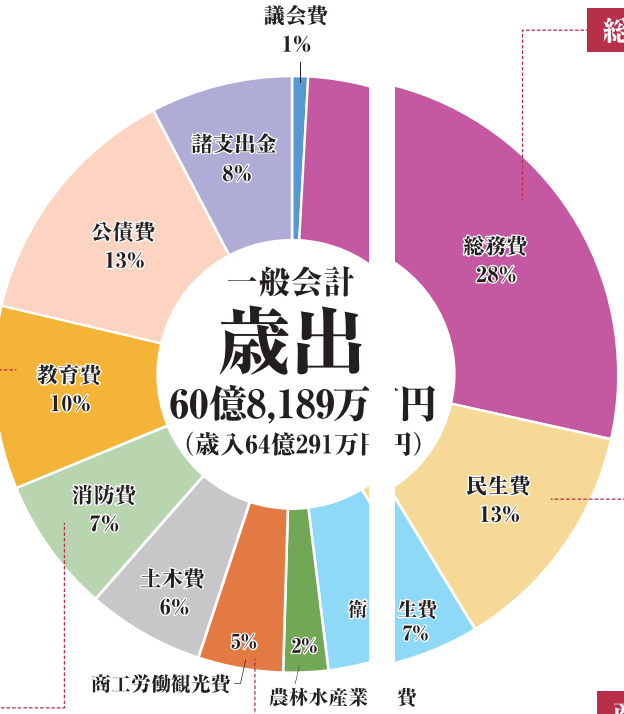
決算を問う

一般会計60億円
猛暑・物価高対応に重点支出

上川町決算のあらまし

令和７年度の上川町の決算額（歳出）は総額85億8,999万円。そのうち一般会計は60億8,189万円、特別会計は16億6,564万円、企業会計は８億4,244万円となりました。今回は町の会計の中心となる一般会計決算について詳しくお伝えします。

（１万円未満は記載を省略しています）



教育費

教育環境の整備

小中学校のエアコン整備に2億267万円

近年の猛暑から児童・生徒の教育環境を守るため、小中学校の校舎にエアコンを設置した。


小中学校にエアコンが設置

学園構想の策定に680万円

幼児・学校教育から社会教育までを通した、上川町における教育ビジョン「上川町学園構想」を策定した。

関連質疑を10頁に掲載

パソコンの保守管理に365万円

小中学校のコンピュータ教室のパソコンの保守点検等を行った。

関連質疑を10頁に掲載

消　防

老朽化した設備を更新

消防庁舎内部改修に3,789万円

老朽化した消防庁舎の水道配管・洗面所等の改修や、照明のLED化を行った。


水道設備等の改修を行った

総務費

町民の生活支援

かみかわペイチケットに3,150万円

物価高騰への対応として町民を支援するため１人あたり１万円のペイチケットを配布した。



１人１万円分のペイチケットが配られた

民生費

子育て家庭の生活支援

子育て応援手当に590万円

物価高騰への対応として子育て世帯を支援するため、子ども１人あたり２万円を給付した。

子育て世帯支援米135万円

物価高騰への対応として子育て世帯を支援するため、子ども１人あたり５kgのお米を配布した。



子育て家庭に配られた金芽米

商工労働観光費

層雲峡の観光資源の管理

関連質疑を10頁に掲載

層雲峡パークゴルフ場に949万円

層雲峡にあるパークゴルフ場の維持管理を行った。


層雲峡パークゴルフ場

【その他の会計決算】

関連質疑を10頁に掲載

□国民健康保険事業特別会計	歳入 4億5,214万円	歳出 4億4,085万円
□後期高齢者医療事業特別会計	歳入 7,893万円	歳出 7,890万円
□介護保険事業特別会計	歳入 6億1,077万円	歳出 5億5,316万円
□町立診療所事業特別会計	歳入 4億7,094万円	歳出 4億3,646万円
□介護医療院事業特別会計	歳入 1億7,873万円	歳出 1億5,624万円
□簡易水道事業会計	(水道事業収益)	1億7,692万円 (費用) 1億6,235万円
	(資本的収入)	1億3,402万円 (支出) 2億4,030万円
□下水道事業会計	(下水道事業収益)	3億2,144万円 (費用) 3億405万円
	(資本的収入)	4,223万円 (支出) 1億3,573万円

決算を問う

9月16日～17日にかけて決算委員会が行われ、パークゴルフ場、学園構想等について質疑が交わされた

決算委員会とは…正式名称「決算審査特別委員会」は、昨年度の町の予算の使い方を執行者が報告し、議員は「予算が適正かつ効果的に使われたか」を点検する委員会である。

商工労働観光費「層雲峡パークゴルフ場維持管理経費」

なにをしたの？

層雲峡清川にあるパークゴルフ場の維持管理に年間949万円を支出した。

大村委員　利用実績や設置の目的は？

産業経済課長　無料の施設のため概算になるが、年間2320人の利用があった。町民向けの栄町パークゴルフ場とは目的を分け、層雲峡は観光客に楽しんでもらうことを目的に設置している。

教育費「上川町学園構想事業」

なにをしたの？

上川町における教育ビジョンの策定のため、680万円を支出した。

渕上委員　イメージばかりで具体的な事業が見えない。目標・成果・課題などもっと見える化できないか？

社会教育係長　年2回の推進委員会を開催の上、7年度に教育ビジョンが完成した。委員会のなかでは成果等を報告してきたが、議会へもお示ししていくよう改善する。今後は具体的な事業が行われるため中身が見えやすくなるはずだ。

教育費「義務教育振興管理経費」

なにをしたの？

小中学校のパソコン等の保守点検業務を委託するため、365万円を支出した。

昔農委員　児童・生徒一人につき一台のタブレットが配布されているなか、パソコンを廃止する学校も出てきている。上川町の今後の方向性は？

教育次長　タブレットは日常的な調べ学習などに活用し、パソコンはプログラミングや動画制作など、タブレットの性能では難しい専門的・高度な学習で活用するなど、効果的なICT教育環境を整えていくつもりだ。

診療所・介護医療院会計「一般会計繰入金」

なにをしたの？

上川医療センターと介護医療院の経営安定のため、年度途中に一般会計から8200万円を補填した。

渕上委員　今後も経営難は続き、細かな歳出削減ではしのぎ切れないと思うが、今後の見通しは？

診療所事務長　7年度は人件費の増加が著しいうえ、患者数が伸びなかったため経営が厳しかった。

8年度は文書料等の引き上げで、年間100万円ほどの収入増が見込まれるほか、入院患者の受け入れを増やし収入改善を図る。

また事務職員を1名減らすなど支出抑制に努めているが、更なる削減は住民サービスの低下が懸念されるため慎重に検討する。

町　長　今後は病床数の検討や、介護医療院の存続についても考えていかなければと思っている。



上川町の医療を守る上川医療センターと、介護を支える介護医療院

7月臨時 9月定例 **議案PICK UP！**

議会で決まりました

7月24日に臨時議会、9月16日・17日に定例議会が行われ
計39件の議案が審議され、すべて可決されました。
（議案一覧は13ページ）
ここではその議案のなかから、特に町民のくらしに
直結するものを紹介します。





公共施設

議案第59号　一般会計補正予算（第３号）
議案第60号　上川町立診療所特別会計補正予算（第１号）
議案第61号　上川町介護医療院特別会計補正予算（第１号）

役場などの清掃業務
人件費の増で262万円の補正

公共施設の管理費が増大！

昨今の人件費の高騰により、清掃やボイラー管理などの委託料が上がっています。役場やかみんぐホール、病院などの町が保有している施設の管理にこれまで以上のお金がかかることから、３会計合わせて262万６千円の補正予算が組まれました。



上川町役場外観。施設を管理するためには清掃・警備などの管理費が恒常的に必要であり、物価や人件費の上昇の影響を大きく受けている。

発議案第２号　上川町議会活性化特別委員会の設置及び委員の選任

よりよい議会づくりのために「議会活性化特別委員会」を設置

議会の未来を考える

昨今の地方議会は、全国的に議員のなり手が減り、住民の議会への関心が薄れるなど議会離れが進んでいます。

上川町議会は、これまでの議会のあり方を見直し、より住民に身近に感じてもらえる議会を目指し議論していくため、新たに特別委員会を設けました。

令和８～９年度にかけて話し合いを重ね、新たな議会のかたちを模索していきます。



湯川委員長を筆頭に全議員で約１年間議論します。

「議員一丸となって議会改革に取り組みます！」

「米国生じゃがいも輸入反対」など意見書８件を採択

９月定例会において下記の意見書を採択しました。

- 国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書
- 物価上昇に見合う老齢基礎年金等の引き上げを求める意見書
- 軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書
- 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率１／２への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書
- 道教委「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書
- 「大学生への給付奨学金制度の拡充」を求める意見書
- 米国産生馬鈴しょ輸入解禁反対等を求める意見書
- 非核三原則の尊重と堅持を求める意見書

水道基本料金の免除を１ヶ月延長

議案第62号　簡易水道事業会計補正予算（第２号）

物価高騰対策として行っていた、水道基本料金免除３ヶ月分（６～８月分）の期間を１ヶ月延長し、９月分についても引き続き免除しました。

10月分（11月請求）からは通常の基本料金が適用されています。



一目でわかる 議会の結果

7月臨時会
9月定例会

（重要度）☆～☆☆☆　町民の暮らしに直結する案件かどうか、広報委員会で独自に判断しました

重要度	件名	結果
条例改正	すでにある条例を変えること。保険料が変わるなど町民のくらしに直結する場合と、国の法律が変わる際にそれに合わせて町の条例を変えるなど形式的な場合がある	
★☆☆	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正	全会一致で可決
★☆☆	認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正	
★☆☆	監査委員条例の一部を改正	
★☆☆	子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正（文言の修正）	
★☆☆	老人医療費の助成に関する条例の一部を改正（文言の修正）	
補正予算	お金が足りないぶんを補う補正（増額）と、予定より使わなかったためお金を戻す整理（減額）がある	
★★★	一般会計補正予算　第３・４号	全会一致で可決
★☆☆	介護保険事業特別会計補正予算　第２号	
★☆☆	町立診療所事業特別会計補正予算　第１・２号	
★☆☆	介護医療院事業特別会計補正予算　第１・２号	
★★★	簡易水道事業会計補正予算　第２・３号	
令和７年度決算	ｐ８～10に特集ページあり！	
★★★	全８会計の決算（一般会計・国民健康保険事業特別会計・後期高齢者医療事業特別会計・介護保険事業特別会計・国民健康保険上川町立診療所事業特別会計・介護医療院事業特別会計・簡易水道事業会計・下水道事業会計）	決算審査特別委員会に付託⇒全会一致で可決
その他	人事・契約・財産など	
★☆☆	財産（生化学自動分析装置）の取得	全会一致で可決
★☆☆	損害賠償の額の決定及び和解について	
★☆☆	教育委員会委員の任命（１名）	
議員からの発議	議員から提出する議案。おもに議会関係の条例改正や、議員の派遣など	
★☆☆	上川町長の専決処分事項に関する件の一部改正	全会一致で可決
★☆☆	上川町議会活性化特別委員会の設置及び委員の選任	
★☆☆	議員派遣（10月議員研修会）	

議員といっしょに話してみませんか？

議会は、町民と議会の対話の場「まちづくりトーク」の参加者を募集しています。まずはお気軽にご相談ください。

（上川町議会事務局01658-2-4064）



委員会の動き


（９月７日意見書審査のようす）

議　会には４つの委員会と１つの協議会があり、まちの施策について話し合っています。
　特に、議会の議決が必要な案件では、委員会で行政とのあいだで質疑が交わされ、政策についてじっくり意見を交換し合うだいじな場となっています。

総務文教常任委員会

▽９月１日
（議題）
・ヌクモについて
・（一社）カミカワミライデザインの取組状況
・総合的な防災体制の確立
・上川町財政の健全化

質疑　（一社）カミカワミライデザイン

渕上委員　住民ニーズの調査を行うとのことだが、事業に反映されるのか？

担当係長　地域の声を聞く姿勢を大切にしたい。
　そのうえで事前にチャレンジショップ開設の要望があった。また、将来的には組織の自走化のための収益事業にも取り組んでいきたい。

溝口委員　地域おこし協力隊の伴走支援とは何をやるのか？

未来想造課長補佐　協力隊が起業する際の物件探しや人脈作りを支援したい。

石山委員　協力隊の起業を支援するため、フォロー体制を手厚くすべきでは？

未来想造課長補佐　協力隊以外の起業者もいるため、事業承継・新規開業支援補助金等のだれでも使える制度を使ってフォローしていきたい。



チャレンジショップ化などの要望もある旧長栄堂

質疑　外国人観光客の災害対応

泉委員　災害発生時に、外国人向けの情報発信はあるのか？

担当係長　以前は多言語サイネージで案内していたが、経年劣化で使えなくなった。今後検討する。

▽９月７日
　所管事務に関する意見書審査

全員協議会

▽７月24日
（議題）
・公用車の車検有効期限切れ
・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の実施事業の追加

質疑　公用車の車検切れについて

大村委員　再発防止のため管理を見直すとのことだが、これまでの管理方法とこれからの管理方法について詳しく。

総務課長　これまでエクセルで作成した車両一覧表を使い、担当一人で管理していた。
　これからはエクセルに加え、紙の一覧表も活用し、課長や補佐も週一回、一覧表をチェックする体制に変更した。

▽８月12日
（議題）
・議会活性化特別委員会（仮）設置
・議会会議用タブレット端末の使用

産業福祉常任委員会

▽7月24日
（議題）
・旭ヶ丘地区活性化事業
・観光地づくり対策事業（DMO）

質疑 大雪森のガーデン

笠間委員　入込が落ちているが、集客につなげる策はあるのか？

産業経済課長　ガーデンショップオリジナル商品のリニューアルや、オリジナルのポストカード作成などを計画している。

町長　以前あったドレスガーデンのようなシンボル的な施設も必要になってくるかと思う。


フォトスポットとして話題になったドレスガーデン

泉委員　リニューアルの予定はあるのか？

町長　ガーデンを一度専門家に検証してもらい、見直していく必要を感じている。

質疑 DMO（大雪山ツアーズ）

宮本委員　7年度事業収益の事績が予算額を大きく下回ったが、原因は？

産業経済課長　ツアー商品の募集人員が、予定通り集まらなかったことが原因だ。

▽8月31日
（議題）
・町立診療所及び介護医療院の運営状況と今後の在り方
・大雪レクリエーションの森並びに大雪森のホールの運営状況等
・民有林の誤伐採による損害賠償支払い
・令和8年産農作物の生育状況
（現地視察）
・町内水田・畑作地等


今年の大根は非常に良質と報告を受けた

質疑 町立診療所・介護医療院

小林委員　赤字の運営状況だが、もっと効率化できないか？

診療所事務長　事務の見直しと効率化により、人件費を削減できないか検証していくほか、収入を増やすため、入院患者・外来患者の増加に向け取り組んでいる。

町長　町立病院・介護医療院の今後のあり方を検討する協議会の中間とりまとめを10月にやる予定。私としては病院を守っていく考えは持っている。

質疑 民有林の誤伐採

笠間委員　町有林の境界を誤認し、民有林を誤伐採してしまったとのことだが、伐採にあたっては測量などの手順を踏んだのか？

担当係長　測量は行ったが、使用する図面がそもそも誤っており、その過誤に気付くことができなかった。

▽9月7日
所管事務に関する意見書審査

議会運営委員会

▽7月24日・9月11日・9月16日
上川町議会の運営について

議会広報特別委員会

▽9月28日・10月13日
議会広報第203号の編集及び校正について

上川町議会広報　凜　第203号
●電話番号　2-4064　●FAX　2-1220
発行／上川町議会　編集／議会広報特別委員会
●住所　上川町南町180番地
●メール　gikai@town.hokkaido-kamikawa.lg.jp
議会広報へみなさまのご意見をお寄せください。

議員視察レポート
「住みたい田舎ランキング1位※」沼田町を視察

7月3日、上川町議会議員11名で北海道雨竜郡沼田町を視察し、『移住政策の取組』についてお話を伺いました。

沼田町は人口約2700人と上川町と同規模の町で、「住みたい田舎ベストランキング」で全国1位に選ばれています。

移住支援としては、20代の新婚・子育て世代が住宅を新築する場合、最大570万円の支援を受けられる制度や、移住体験住宅を豊富に確保するなど、手厚い環境が整えられています。また、チラシの「最大570万円」という分かりやすい打ち出し方は、たいへん効果的だと感じました。

特に心に残ったのが、「夜高あんどん祭り」が地域の人間関係をつなぐ役割を果たしているという話です。

祭りの準備期間中は、役場職員や民間の方などの地元住民だけでなく、移住して間もない方も混じって、数か月にわたり作業します。普段は職場も立場も違う人たちが一緒に汗を流すことで、互いを知り、認め合い、新しく来た移住者も自然と地域の一員となっていくそうです。

制度だけでは生み出せない「地域と馴染んでいくきっかけ」づくりを、祭りが担っているのです。

人と人とが継続的に関わる機会を地域の中に持ち、町民がそこにプライドを持って、長く積み重ねていることこそが、本質的なまちづくりだと感じました。

上川町のふるさと祭りも、もっと町のみんなが関われるようになったら楽しそう！　と、より良い上川町の姿が見えた気がしました。

沼田町の皆さんありがとうございました！

レポート執筆：大村　優介







※沼田町は、月刊誌「田舎暮らしの本」が掲載している「住みたい田舎ベストランキング」2026年版で、「人口1万人未満の町部門」で総合、シニア世代の両部門で全国1位を獲得した。

あの質問どうなった？

質疑のその後

～令和７年３月定例会の一般質問のようす～



大村議員「上川高校存続のため、全国から生徒を募る“地域みらい留学”導入と条件整備が必要だ」

教育長「全国から生徒を集められる高校になるための魅力づくりが必要であり、あわせて下宿先の確保にも課題がある。」



この質疑をきっかけに…

地域みらい留学が始まりました

（R9年度より受け入れ）



今後もよりよいまちづくりに努めます